

參考資料

ExeJapan BSが提供する 英国国立大MBAコースの特徴 (TopUP MBA)

- ▶ **英国MBA学位**→世界に通用する。
 - 学位は通貨である。国際流通性なくば通貨ではない。
 - 日本の大学はMBA学位の法的根拠なし。
 - 日本の大学A—国際認証（政府の関連機関ではなく民間）。
 - 日本の大学B—自称MBA（根拠なし）
- ▶ **論文—課題**→**世界基準の学習ができる。**
 - 論理的合理的科学的思考と書き出し能力がつく。
 - ビジネスマネジャーとしてプレゼンカ（論拠）がつく。
 - 世界基準の書き方（引用、図表など）は身につく。
 - ディスカッションやケース学習だけではマネジャーとしては不十分。
- ▶ **日本語と英語能力（ビジネス）**が身につく。
- ▶ **現地に行かず日本ですべて完結する。**
- ▶ **学費総額（学位取得まで）198万円（税込み）。**
- ▶ **最短修了は17か月（英国との直接学習8か月含む）。**

英国国立Anglia Ruskin Univ MBA取得までの流れ

英国資格監査機関(公的)
OfQual



品質保証

英国高等教育品質機構(QAA)



教育評価

"QUALIFI"
PostGraduate Diploma
Level 7 In SML (大
学院経営系科目課程)

日本で学習 (8ヶ月間)



TopUp

英国国立 Anglia Ruskin Univ
MBA

英国との遠隔学習

英国国立Anglia Ruskin Univ MBA TopUP コース

当スクール利点

1. 英語試験が問われない。
2. PGD-Qualifi Level 7は公的な英国試験監査機関OfQualの認可を受けているAwarding Bodyです。
修了者は、それを受け入れる大学には無条件で入学ができます
3. **オンライン&対面両方可能**。実際にFace to faceで授業をすることに勝るものではありません。
教員はここ20年このような英国のコースを運営してますノウハウを受けて指導してますので安心して効率的に学べます。その証拠がTopUP後の学位取得率です（ほぼ全員）。
4. 学位取得までの費用と時間が圧倒的に有利という点
5. 英国国立大学の学位は世界に通用。

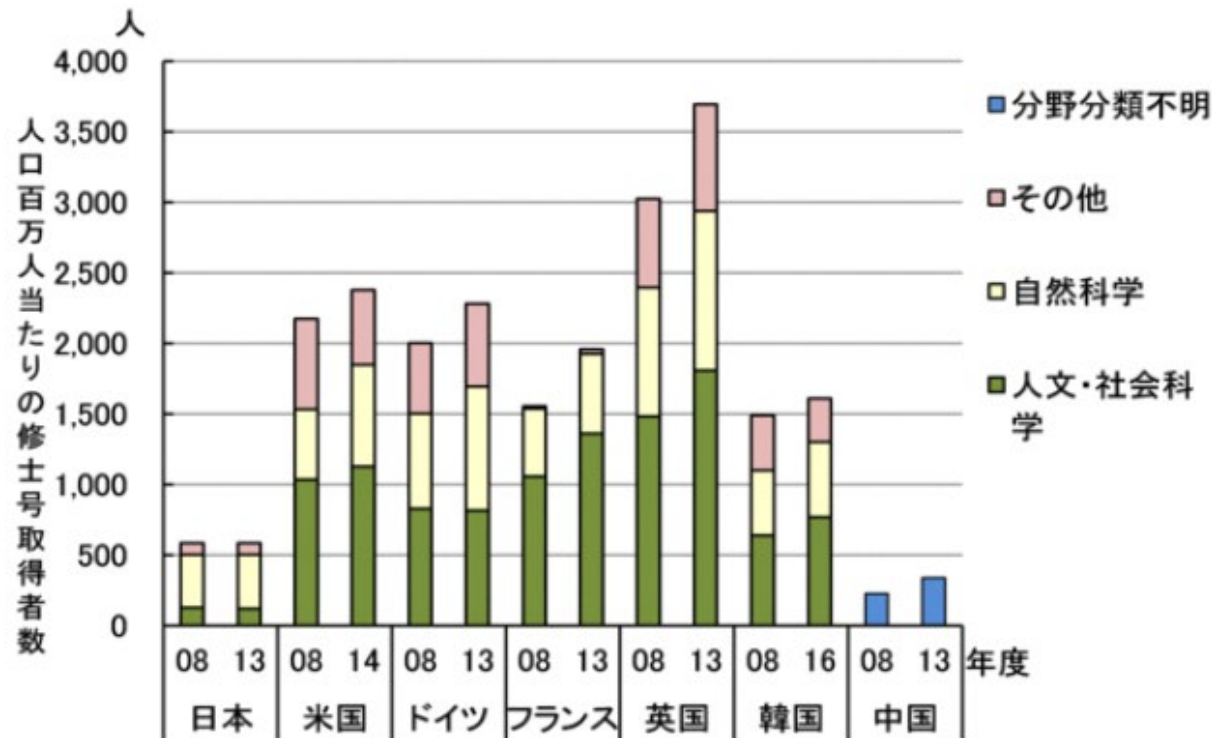
各校比較一

各校経験者からの情報によるExeJapanの判断

コース	マサチューセッツ 州立大MBA	ボンド大学MBA	アングリアラスキン大 MBA	マギル大学EMBA	テンプル大学EMBA
国籍	米国	豪州	英国	カナダ	米国
運営機関	アビタス	大前スクール	エグゼクティブジャ パン	マギル大学	テンプル大学
学位取得率	約30%	不明	↑95%(Topup後)	不明	不明
学位の世界的 通用性	◎	○	●	◎	○
学費	約300万円	不明	約200万円	約450万円	約450万円
摘要	日本での学習と米 国	日本で100%	日本+英国(遠隔)	英語	英語
		オンライン学習	通学+オンライン		
	米国州立大学。 米国学生の70%以 上は州立。	*アサインメントなど戦略めい たものはM&Aが多く、大前さ んの考えに同調しないとパスで きない。学位は豪州なのに実態 は大前スクール。ビデオ教材が 古い。	第一段階のPGD(8カ 月)終了後に英国大へ TopUp.TopUp後の学 位取得率は95%以上。 全て英国流であり、日 本の機関の評価基準で はない。	ここはExeMBAなので学位 はMBA(修士)です。今は DBA勃興の時代には学位の 優位性においては再考すべ き。その費用があればDB Aに充当すべし	ここはExeMBAなので学位 はMBA(修士)です。今は DBA勃興の時代には学位の 優位性においては再考すべ き。その費用があればDB Aに充当すべし

日本の修士号取得者の数は大変少ない。
 これでは優秀な海外のビジネスマンと対等に競えるだけの論理的スキルはできない。

【図表3-4-2】 人口100万人当たりの修士号取得者数の国際比較



要約

- MBA には世界共通の概念というものがある。しかし、日本の文部科学省には MBA の概念はない。つまり日本の大学に正式に MBA という学位は存在していない。
- 日本の教育機関では何でも「MBA」と表記しているが、これは市場を混乱させている。
- MBA コースの概念は、キャリア・ディベロップメント・ゼネラリスト・プログラムであり日本の経営学修士号コースとは同じではない。
- MBA 教育における教員は、ファシリテーター、コンダクター、エンターテイナーでもあるので、経営学におけるアカデミック教員とは異なる。
- MBA 概念を具現化させるには、教育機関が MBA についての第三者品質保証が必要である。

海外と直接Online MBA受講 のメリット/デメリット

▶ メリット

-異文化の接触、本国での学習コンテンツに触れられる。英語力向上の可能性。

▶ デメリット

-英語についてゆけない。

-Onlineの非接触性。

-課題で要求されている事が理解しにくい。

-日本での教育のみの方は、断片的知識偏重記憶絶対正解学習により、大学が求めている論理性をベースとしたフレームワーク学習についてゆけない。

-再提出費用が高い。



Fin